

開成町議会総務経済常任委員会

所管事務調査報告書

令和5年5月～令和6年8月

開成町議会議長 山本 研一 様

総務経済常任委員会委員長 武井 正広

総務経済常任委員会所管事務調査報告書

本委員会の所管事務につき、調査した結果を開成町議会会議規則第75条の規定により、次のとおり報告する。

1 調査の件名 「公園の整備及び維持管理について」

2 調査の目的

本町は6.55㎢と小さな面積ながら40以上もの公園が設置されている。その中には、町民にとって設備等が不十分と思われる公園や、親しまれているとは言い難い公園が含まれていることが、各委員に寄せられる町民の声から推測されていた。そこで、町民に親しまれる公園のあり方についてを検討するため、改めて町民の声を集めるとともに、公園の整備及び維持管理について調査研究を行うこととした。

3 調査の経過

	委員会開会日	出席状況	調査の概要
第1回	令和5年5月11日	全員	
第2回	令和5年6月6日	全員	
第3回	令和5年7月6日 令和5年7月7日	全員	町内全46か所の公園の現地調査
第4回	令和5年8月4日	全員	説明員：街づくり推進課長、班長
第5回	令和5年9月15日	全員	
第6回	令和5年10月4日	全員	
第7回	令和5年12月13日	全員	
第8回	令和6年1月16日	全員	
第9回	令和6年2月8日	全員	
第10回	令和6年4月23日	全員	アンケート調査の集計
第11回	令和6年5月23日	全員	アンケート調査の検証
第12回	令和6年6月11日	全員	
第13回	令和6年7月17日	全員	

第14回	令和6年7月31日	全員	
第15回	令和6年8月21日	全員	

現地調査：令和5年7月6日、7日 町内公園（全46か所）

アンケート調査：令和6年2月20日から令和6年4月5日まで

4 調査の内容

はじめに、町内46か所の公園を

次の9つの視点から2日間に渡り現地調査を行った。

- ① 駐車場の有無
- ② 遊具の状態
- ③ トイレの有無
- ④ 水道や水路
- ⑤ 屋根や木陰がある休憩所の有無
- ⑥ ボール遊びは可能か
- ⑦ 防犯面（防犯灯や見通しなど）
- ⑧ 樹木や草花の状態
- ⑨ 周辺の環境

その後、町担当課から公園行政について説明を受けた。計画段階から公園として設置した水辺スポーツ公園以外の45か所については、区画整理で設置した都市公園、農村公園や道路整備等で生まれたスペースに設置されたポケットパーク、そして一般公園がある。また、維持管理については、シルバー人材センター及び造園業者に業務委託、そして公園ボランティア等で行っているとのことであった。

次に、公園利用者だけではなく、広く町民を対象にした公園アンケートを実施した。期間は令和6年2月20日から4月5日までとし、実施方法は紙媒体及びWEB方式とした。結果は紙媒体による回答536件、WEBによる回答169件の合計705件が集まり、全体的には年齢層、地域についても大きな偏りなく集計することができた。

アンケートを分析した結果、多くの町民が公園に求めるものは、数の多さではなくその質であることが確認できた。

例えば、『どうすれば（何があれば）より公園を利用しますか』という設問についての回答は、選択肢に「公共交通機関」や「一緒に過ごす友人知人」もあるなかで、駐車場が最も多く42%、以下、遊具42%、トイレ41%、休憩所35%と、設備面の充実に望むものが多かった。

その後、町担当課に公園の維持管理状況の説明を求めた。除草作業については、シルバー人材センターが年間29か所の公園を延べ383人で対応しており、みなみ地区は年3回、他は年2回実施している。また、公園ボランティアの登録状況は増加傾向であり、現在26の個人及び団体が登録しているとのことであった。

5 検討のまとめ

当委員会では、「公園の整備及び維持管理について」を調査項目とし、町内公園の現地調査、公園利用者へのアンケート調査及びアンケート結果の分析等、計15回の委員会を開催し、委員間討議を行った。

その結果は次のとおりである。

- 現地調査を行い検証した課題と、アンケート結果を検証して浮き彫りになった課題は概ね一致していた。町民は公園数の多さを好意的に捉えているものの、駐車場、遊具、トイレ、休憩所等が充実した公園が、たとえ限定的な数であっても町内にあることを望んでいる。
- 町民はいつでも安全が保たれ、気持ちよく過ごせるきれいな公園を望んでいる。町が業者に委託して行う除草作業などの頻度を上げるとともに、住民自らが、身近な公園を慈しむ気持ちを醸成できるような、公園ボランティア等の更なる募集やサポートが必要であると考えている。

以上のことから、当委員会として、公園の整備及び維持管理について、次のとおり提言する。

6 提言

- 町のひとつの顔として多くの町民に親しまれるよう、例えば町の中心地に位置し、大通り沿いでもある中家村公園において、インクルーシブ及び健康に関わる遊具の設置、また駐車スペースの拡充を検討されたい。
- より多くの町民が、身近な公園に愛着を持てるよう、トイレなど既存設備の見直しを行うとともに、いつでも気軽に美化作業に参画できるよう、個人及び団体によるボランティア活動の継続的な周知、勧誘、サポートを図られたい。

※なお、今回の公園アンケート結果については、資料として別途報告する。

アンケートは、町民705人からいただいた貴重なデータのため、今後の公園を生かしたまちづくりに活用願えればと考える。

委員長	武井 正広
副委員長	清水 友紀
委員	星野 洋一 寺野 圭一郎 前田 せつよ

(※議長オブザーバー出席)